

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol. 1

阿南市における水に関する話題

徳島県 阿南市長
いわさ よしひと
岩浅 嘉仁



1.はじめに

阿南市は東は紀伊水道、南は太平洋に臨み、北は一級河川那賀川に沿って隣町に接している。地形は西部が四国山系の東端に連なる山地と東部の沖積平野から形成され、徳島県南部の産業、経済、文化の中心都市となっています。

那賀川は剣山山系を源とし、874km²の流域をもち、上水道、農業用水、工業用水に利用されています。上流域は日本有数の多雨地帯であり、海川観測所（四国電力）で1,317mmと言う1日の降雨量としては全国一の値を記録しています。また、流域が急勾配であるため渇水も生じやすい河川で、最近では毎年のように渇水が発生しており、水不足が深刻な問題となっています。

2.水に関する話題

那賀川は、今年長安口ダム完成以来、最大の渇水となりました。

今年の取水制限は4月26日に開始され、6月11日

には長安口ダム及び小見野々ダムからの利水補給ができなくなり、渇水による生産調整で工業関係の被害額は約50億円（7月12日現在）と過去最大になっています。

阿南市においても4月28日に渇水対策本部を立ち上げ、市民に節水のPR等を行っています。また、6月24日には阿南市内の各種団体をもって組織する「那賀川渇水対策協議会」を設立し国及び県に対し、渇水に対する抜本的な対策を要望しております。

現在、阿南市は那賀川町及び羽ノ浦町と合併を推進しているが頻発する渇水への対策を怠れば、雇用の確保、税収の減少など、市民生活はもとより大きな経済的損失を招くことになるかと危惧しております。

市民の安全で豊かな暮らしを実現するためにも、那賀川の利水、治水、環境の保全を図ることは極めて重要な課題であります。



長安口ダムの貯水池状況（6月27日）